

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-02-06-04
事務事業名	献血事業		根拠法令・要綱等 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律
事業開始年度	昭和43年以前～		
総合計画	大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	問合せ先 担当課(室) 保健課
	中項目 基本施策	健やかで生き生きしたまちづくり	職・氏名 健康係長・白麗由美子
	小項目 施策	健康づくり	電話 64-1820

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	健康な16歳～69歳の市民(但し60歳以上は60歳～64歳までの間に1回でも献血をした事がある人)
目的(何のために)	血液を必要とする市民のために、善意(ボランティア)意識の向上を図り、血液の安定供給を確保する。
行政活動(どのような方法で)	献血について住民の理解を深めるとともに、赤十字血液センターの献血事業が円滑に実施されるよう支援する
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民が献血の必要性を認識し、お互いの生命を大切なものとする

事業の実績							
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	200ml献血(場所別)		人	280	212	155	
	400ml献血(場所別)		人	1,245	1,208	1,320	
	献血者数(場所別計)		人	1,525	1,420	1,393	
	献血者数(住所別計)		人	1,887	1,851	1,689	
	献血車台数		台	24	21	25	
	事業費	直接事業費		千円	0	0	0
		人件費			2,323	2,200	881
		事業費計			2,323	2,200	881
		国県支出金					
財源	受益者負担		千円				
	市一般財源			2,323	2,200	881	
	必要人員		人	0.38	0.55	0.32	
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	献血者数(場所別)		説明				
	結果指標量	人	1,525	1,420	1,393		
	対前年比	%	-	93.1%	98.1%		
	活動コスト	円	2,323,000	2,200,000	881,000		
	単位当たりコスト	円	1,523	1,549	632		
	献血者数(住所別)		説明				
結果指標量	人	1,887	1,851	1,689			
対前年比	%	-	98.1%	91.2%			
活動コスト	円	2,323,000	2,200,000	881,000			
単位当たりコスト	円	1,231	1,189	522			

事業の成果				
成果指標名	献血率	式又は説明	(献血者数(住所別) / 献血可能人口) × 100	
		17年度	18年度	19年度
成果指標量	8.80	8.70	6.18	
対前年比		98.86%	71.03%	
到達目標値	9.00%	到達目標年度	平成20年度	

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A-E> B
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	課題認識
	行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	献血推進の主体が行政にあることが法で定められており、血液を必要とする人のために十分かつ安全な血液が提供できるように広報・ポスター・パンフレット等により市民に献血への協力を呼びかけている。また、各種団体、企業の協力を得て献血の受け入れが円滑に実施されるよう図っている。
	事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	
市民ニーズ	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	
	市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A-E> B
コスト	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	課題認識
	効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	献血車の配車1台につき、H17年度63.5人、H18年度88人、H19年度68人の献血者数である。献血者数は下降しているが、400ml献血者数が増加したため、献血量は昨年度よりも増え、充実した内容となった。
	職場	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A-E> B
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
市民参画度	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	市民の献血意識の向上、ボランティア団体等の協力や参画を得、より充実した事業となってきた。

平成20年度の状況		説明	市内の事業所を中心に、市民ボランティアの協力も得て例年どおりの計画をしている。また、献血意識の向上のための事業(献血キャラバン隊の受入等)も積極的に実施している。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 1,450	結果指標量	1,890
成果指標量	9.00%		

総合評価		評価区分<A-E>	B	妥当性
地域に広い人脈を持つ、備前ロータリークラブ、備前ライオンズクラブ等の団体の積極的な協力が得られ、岡山県赤十字血液センターの推進している400mlの献血者数が増加し市民への貢献度が上昇した。				
				有効性
				効率性

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で真正・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	平成19年度の実績をふまえ、献血実施場所、献血車の配車数を適切に計画する	3月	献血車1台当たりの献血者数の増加、一日の献血量の増加